

地域サークル紹介No.6

小杉駅周辺での体操教室 「パンジー元気会」

健康に関心の深い現代において、20年間にわたり活動を続けています。日本体育協会公認上級指導員の米井智子先生のもとで毎週1回（土曜・午前の1時間半）活動しています。

そして月1回「健康及び病気」についてお話をしていただき、日常の健康管理の相談に応じてくれるスポーツドクターの野田晴彦先生の存在はパンジー元気会の特徴になっています。

この会は30人弱の会員を有し、年齢幅も広く、ストレッチから始まり、筋トレそして「川崎体操」など、1回の体操で体全体をほぐしたり、頭の体操もしています。

更に会員の親睦をはかるため夏・冬には例年会食も行われ体操プラスアルファを与えてくれます。見学大歓迎です。是非一度お出かけ下さい。（連絡先833・5929高木）



パンジー元気会の体操風景

こども探検隊

子どもたちが小杉の街に飛び出し、街の歴史や資源と触れ合いながら思いっきり遊びまわられる企画を展開しています。今までに夏祭り、八百八橋を探せ、ハッピーハロウィン、正月飾り作り、じゃが芋の収穫、ザリガニ捕りと平和館見学などの企画がありました。平成23年も楽しい企画を皆さんと共に考えていきます。新春の1月～3月は次の計画です。



- 1月15日(土)は 凧作り・凧上げ大会
- 2月19日(土)はお菓子で作るおひな様
- 3月19日(土)は江川せせらぎ散策

今年もお子さん達と一緒に、子ども探検隊で自然に親しんだり、楽しく遊んでみませんか。



昨年の凧上げの様子

花・心アレンジメント

今年も「花・心アレンジメント」は皆様に、花の心を生活の調和に役立て、創作する喜びを感じていただけることを喜びとして、活動させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

月一回木曜日開催・表面を参照下さい。一回材料費3,000円のみいただきます。



花・心アレンジメント

パパママパーク

パパママパークの新しい試みとして昨年「ねんねのクラス」と「ハイハイ、あんよのクラス」に分かれました。そして、同じ年代のお子さんたちとの出会いが多くなりました。

パパママパークのスタッフは、参加した親子さんと出会えてよかったね(^_^)、「また来てね」「はい、また来ます」といった言葉のキャッチボールができるような、温かいふれあいの場が長く続くようにしていきたいと願っています。

パパさんも土曜日などには是非参加して、子どもたちとのふれあいを楽しんでいただければうれしく思います。また、子育て経験がたくさんある多くの皆さまのボランティア参加をお待ちしています。



おしゃべり電話・相談

悩むとき、だれかと話したいときどうぞ、お声をかけてください

- ◎おしゃべり電話 044-434-5498 毎月曜10時～16時
- ◎おしゃべり相談 毎月曜12時～16時 リエトプラザII

心の問題・家族対人関係・生き方 子育てなど・・・



相談無料・秘密厳守・ご相談お子様連れ可
他に「大人のしゃべり場」として「カウンセリングマインドを学びながらのお話し合い」が毎月第二・第四日曜13時から15時30分まで小杉2丁目会館にて行われています。



清掃活動

エリマネでは市民の手による街づくり活動の一環として、小杉駅周辺の清掃活動を週一回行っています。毎週水曜日の朝8:30より、エリマネ事務所前に集まって、約1時間清掃活動をしています。地域の美化と多少の運動の為、この活動を参加していただける方がいらしゃったら、お気軽にご参加ください。



地元チーム・フロンターレを応援しよう!!

川崎フロンターレ後援会 常務理事 相原勝

川崎フロンターレ後援会から新年の挨拶

新年、明けましておめでとうございます。昨年、明けましておめでとうというところでチームではいろいろありまして、タイトルまで届きませんでした。皆が全力で戦ったのは疑いなく、多くの方が結果に対して思うこともあるかと思いますがクラブが経験を重ね、良い糧としたことで良ししたいと思います。

そして今年、心機一転、夢のタイトルに向けて頑張らなければならぬ一年です。もちろん皆様の応援なくしてこの目標達成はできません。また、等々力競技場での試合を観戦されたことがない方は、一度ご観戦に足を運んでください！ 試合会場では、家族みんなで楽しめる催し物でいっぱい。サッカー観戦以外も1日楽しめますのでご近所の皆さんをお誘いの上、ご来場下さい。

また、ご観戦をされる際は、事前に後援会のご入会をお奨めします。後援会は、フロンターレが好きな人だけが入会する組織ではなく、川崎市民全員が初めてでも試合観戦が楽しめるような市民サービスを目指しています。会員特典の招待チケット、試合会場選手との会員限定交流イベントや前売りチケット割引などフロンターレを知らなくてもすぐに応援しているサポーターと同じ体験ができる特典満載です。ご家族の皆様是非、ご入会下さい。

川崎フロンターレ選手、スタッフ一同、等々力陸上競技場でお待ちしています。



中原街道27

昭和四十六年に発行された「中原街道小杉から久末までをたずねて」を参考とした歴史研究を基礎に掲載しています

御守(主)稲荷 と平六大尽

中原街道は、東海道が整備されるまで、江戸から小名古屋・京都・大阪などの行き来の主要道路でした。徳川家康が江戸幕府を開き、多くの大名がこの道を通って江戸に向いた。

その頃、將軍や大名の宿舎のために建てられたのが小杉御殿の始まりだといわれています。東海道が整えられてくると、「小杉御殿」の存在意義も少しずつ薄れていきます。

明暦元年(一六五五)から、小杉御殿の建物は東海寺と上野の弘文院に移築され、小杉からは姿を消してしまいました。

御守(主)殿稲荷

御殿が無くなった後は、荒地に成っていたようですが御守(主)殿稲荷・御蔵稲

荷・陣屋稲荷と呼ぶ、お稲荷様が、それぞれの建物のあった場所に建てられて、稲荷神社が、今でも残っています。御殿の中心的な建物であった「御主殿」の跡地に祭られているのが御守(主)殿稲荷で、「小杉御殿町」は小杉御殿にちなんで後で付けられた地名です。表御門のあった横道から石橋醤油店までの広さを示す「平六大尽」という大きな家敷は、明治十一年代まで残り、それ以後、少しずつ姿を消していき

